

【特徴は？】医師に聞く新型コロナ・変異株「ニンバス」、患者数が今シーズン最多を更新（宮城）

9/11 宮城テレビ



<https://news.yahoo.co.jp/articles/16cf12eb558bd7b1d3c92289f70043c346892c43>

宮城県内の新型コロナ患者数は3週連続で増加し、今シーズンの最多を更新しました。現在、流行の主流となっている新型コロナの変異株「ニンバス」の特徴について医師に聞きました。

仙台駅構内にあるクリニックです。

内科を中心に、発熱外来などの診察に対応し、専用ブースではオンライン診療も行っています。

診療を行う目崎 亨医師は、新型コロナの感染者数が8月に入ってから急激に増加しているといいます。

仙台駅スマートクリニック・目崎 亨 医師

「8月に入ってから少しずつ増えて、一番感じたのはお盆明けに急激に増えた印象」

流行の主流となっているのが、オミクロン株の変異株「ニンバス」でのどの痛みが特徴です。

仙台駅スマートクリニック・目崎 亨 医師

「おそらくニンバスもそうだが感染力はある程度あるんだと思いますし、場合によっては免疫をすり抜ける力も強くなっているかもしれない」

国立健康危機管理研究機構によりますと、7月に検出された全国のコロナウイルスの約8割が「ニンバス」の系統だったということです。

目崎医師は、症状を感じた場合は早めの診療を呼び掛けています。

仙台駅スマートクリニック・目崎 亨 医師

「症状がのどが痛いとか微熱が続くときは、新型コロナウイルスの感染の可能性はありますから、特に高齢者とか家族に持病がある方がいる場合は、早めに医療機関に受診してい

ただければと思います」

一方、宮城県の定点調査によりますと、9月7日までの1週間に報告された新型コロナの患者数は、1医療機関当たり前の週より2割増えて12.80人と、今シーズンの調査で最多を更新。

増加は3週連続です。

保健所の管内別では、仙南が23.20人、塩釜が16.20人、大崎が14.20人などとなっています。

県では引き続き、マスクの着用や手洗い・換気など、感染予防の徹底を呼びかけています。

